∞関屋っ子の可能性は無限大∞

令和７年７月１８日号

関屋小だより

校長　佐藤　幸代

健康で明るい子　　進んで行動できる子　　よく考える子

心にひびくマンガの名言

先日こんな本に出会いました。「人生の大切なことはマンガがすべておしえてくれる　心にひびくマンガの名言」（出版　学研プラス）という本です。その本にのっていたマンガの名言の中で、こんな言葉がありました。「本当にやりたいことを見つけるには、あらゆる人の話を聞き、あらゆることに目を向けるべきでしょう」これは『天才　柳沢教授の生活』第１１巻に出てくるそうです。わたしたちが生きていく中で、いろいろな人に出会い、いろいろな経験をします。その中で自分が心から「ワクワクすること」「好きだ～！！」と思えることに出会えたらいいですね。まだ自分は何が好きで何にワクワクするか、わからないな～見つからないな～という人も、今大好きなものがあって夢中になっている人も、ぜひ、毎日学校で学んでいることや読んだ本、目に入ってくるものに好奇心（こうきしん）をもってみてください。そして、苦手だな～と思うことにも挑戦してみると新しい自分と出会えるかもしれません。明日から始まる夏休み、たくさんの時間があります。ふだん読めない本やマンガを読んでみるのもいいですね。その中で心に残る名言などがあれば、新学期に教えてくださいね！

平和について考えよう

６月２３日の沖縄慰霊（おきなわいれい）の日に合わせて関屋小学校では毎年平和学習をしています。６年生の教室前に市民図書館からお借りしている平和を考える本が並んでいて、その中の一冊がとても心にひびきました。「人はなぜ争うの？」【平和と戦争の絵本　岩川直樹（文）　森雅之（絵）】という本です。その本にはこんなことが書いてありました。「友だちとどこに遊びにいくかでけんかした　でも二人とも　いっしょに遊びたい気持ちは同じ　争っていてもその底に同じ願いをもっていることがある。」「必要なものがないせいで　そこに争いが起きているなら　力で押さえつけるよりも必要なものを満たすほうがいい。」平和の第一歩は近くにいる友だちや家族と仲良くすること、困っている人を助けることだなと思います。この絵本には平和を築くために大切なことが書かれているのでぜひ機会があれば読んでみてください。

夏休みには、日本にとって平和の大切さを考える上で忘れてはいけない日があります。原爆（げんばく）が落とされた日と終戦記念日です。今年は戦後８０年という大きな節目の年、たくさんのニュースやテレビ番組で戦争のことが取り上げられると思います。平和を築くことの大切さについて考える時間にしてもらえたらと思います。

最強の魔法言葉は「ありがとう」

１学期の終業式では、最強の魔法言葉についてお話しました。自分も相手も幸せな気持ちになるこの言葉を毎日言えたらいいですね！自分にも、友達にも、家族にも、育てているお花や野菜、飼っている動物や使っているものにも言ってみてくださいね！

魔法学校（まほう）　復習（ふくしゅう）タイム

１　「〇〇る！　〇〇る！」を（　　）回言うとなんでもできる！夏休みの宿題をするときにも、となえてみよう！

２　自分も人も「ご〇〇〇に！」そのためには、「えがお」でいることがヒケツだよ。にっこりえがおの夏休みを！

３　最強の魔法言葉は「〇り〇〇う」夏休み、自分にも家族にも毎日言ってみよう！

おじぎそうの花が咲いたよ♪さわるときはとげに気を付けてね！

関屋っ子のみなさん一学期元気いっぱいがんばりました。「よく遊び、よく学べ！」最高で最幸の夏休みを過ごしてくださいね。９月１日にみなさんの笑顔に会えるのを楽しみにしています。